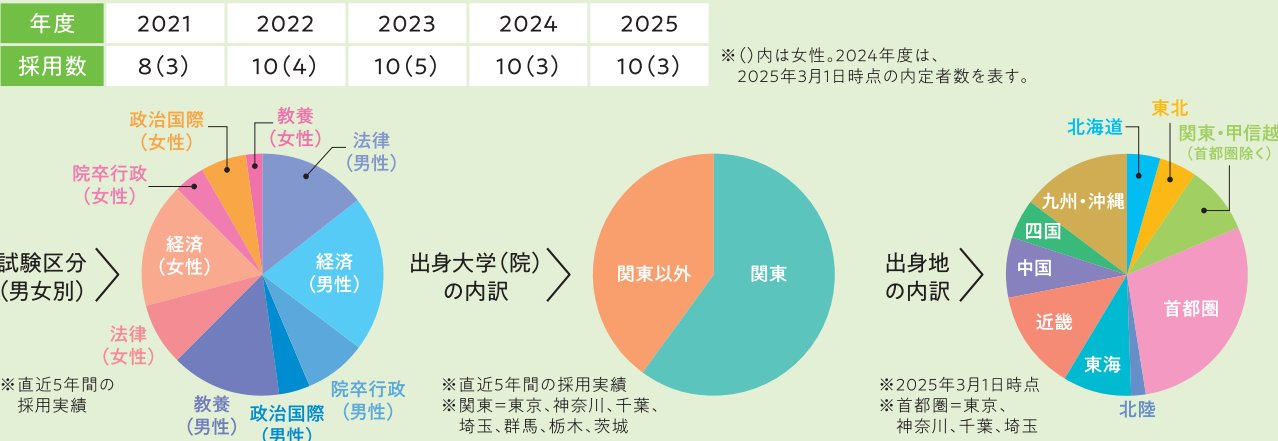


QUESTION & ANSWER ～採用情報ほか～

Q1 これまでの採用実績を教えてください。経済・財政・金融に関する専門知識がなくても採用されますか？

最近5年間では、各年8～10名の職員を採用しています。性別、年齢等を問わず、また特定の大学や学部に限ることなく、人物・能力本位の採用を行っています。大学院修了者や社会人経験者も多数採用しています。

なお、経済・財政・金融に関する専門的な知識を身に付けることは重要ですが、これらの知識は採用後の研修や実務を通して身に付けることができるので、官庁訪問に臨むにあたっては必要ありません。



Q2 日本全国の転勤は多いですか。海外留学や海外勤務のチャンスはありますか？

財務局総合職として採用された場合、1～2年ごとに異動して様々な経験を積むこととなりますが、若手の頃は財務省や金融庁での勤務が中心で、引越を伴う転勤が多いわけではありません。

キャリアパスはまさに人によって様々です。また、スキルアップのため国内外の大学院等に留学する機会も用意されているほか、希望すれば、諸外国の大使館や領事館、IMF等の国際機関等において、現地の経済情勢の分析や経済・財政・金融分野の国際交渉等に携わる機会もあります。

PASSION ～人事担当者からのメッセージ～

「国と地域をつなぐ架け橋」として

わたしたち財務省財務局では、地域に根差し、経済・財政・金融に関する幅広い政策ツールで地域に貢献し、地域経済、ひいては我が国経済の健全な発展に貢献し、安心で豊かな社会の実現を目指すことを「使命」としています。経済とは、言い換えれば、私たちの日々の暮らしそのものであり、多くの人にとって当たり前の日常を支えていくこと、これこそがわたしたち財務省財務局の仕事とも言えます。

財務局総合職の職員は、財務省や金融庁などの本省庁のほか、全国の財務局や海外など幅広いフィールドで日々研鑽を重ねています。政策が作られる国の「現場」とそれらが執行される地域の「現場」をバランスよく経験して「現場力」を鍛え、政策をより効果的なものにすることができます。そうしたキャリアを通じて、国の政策・各地域の実情の双方に精通し、さらには経済・財政・金融の豊富な知識・経験を身に付け、「国と地域をつなぐ架け橋」として、国と地方、双方に貢献していきます。

人口減少・少子高齢化など社会経済環境が大きく変化する中、新たな課題は地域において先行的に発生することが少なく

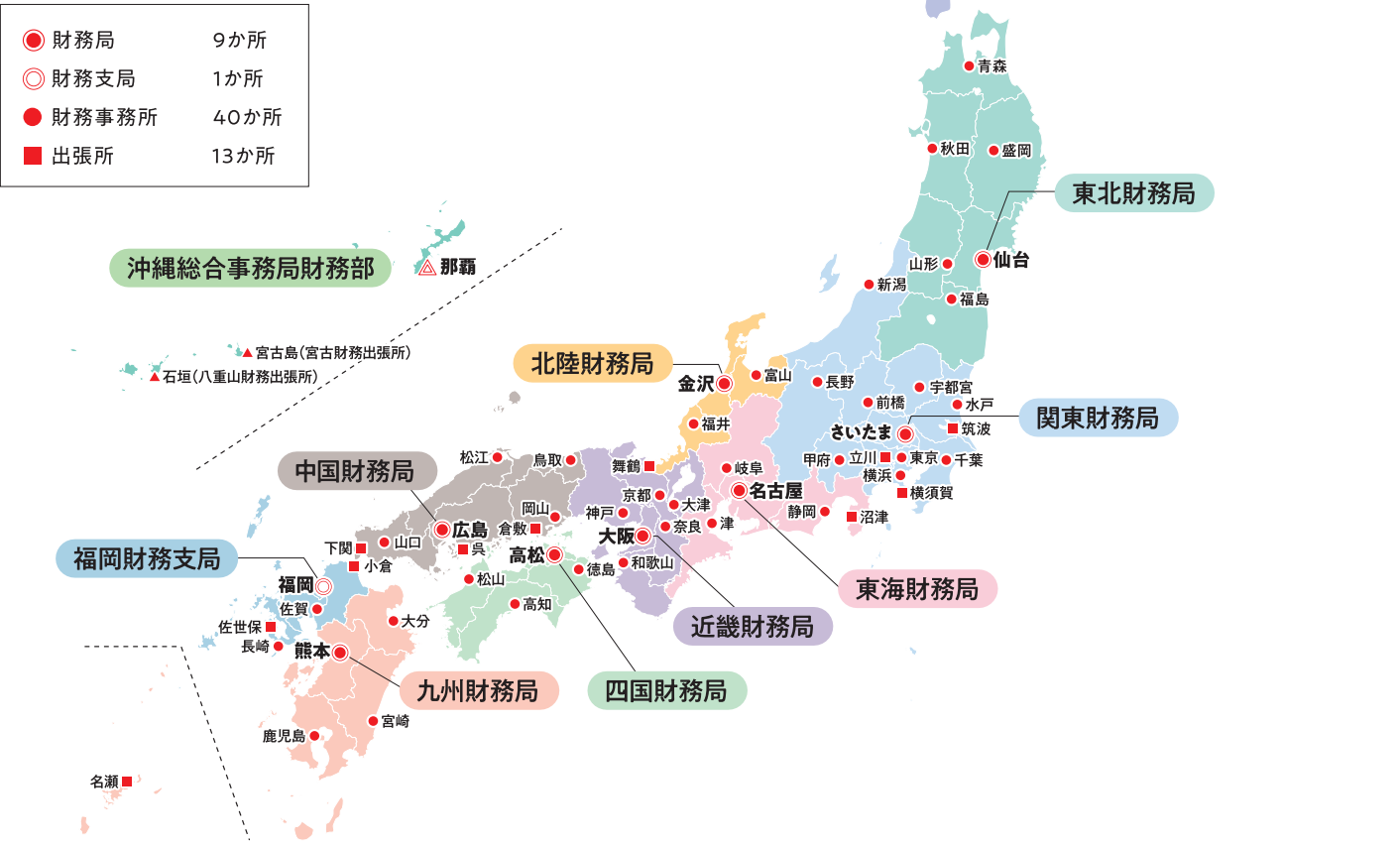
ありません。皆さんと、国・地方の双方に貢献する高い志を持って国・地域が抱える課題に真剣に向き合い、共に働くその日を楽しみにしています。



財務省大臣官房地方課
人事第二係 遠山 凌央 [2023年採用] TOYAMA Ryo
人事調整企画室長 北村 明仁 [2003年採用] KITAMURA Akiyoshi
人事第二係長 吉田 祥子 [2019年採用] YOSHIDA Shoko

NETWORK ～財務局のネットワーク～

財務局は財務省の総合出先機関として、都道府県単位のネットワークを構築しています。



ORGANIZATION ～財務局の組織と業務～

総務部

- 地域経済の調査
- 広報・広聴
- 地域連携・地方創生支援

管財部

- 国有財産の有効活用
- 国有地の売却
- 国の宿舍・庁舎の最適利用の推進

理財部

- 予算執行調査
- 地方公共団体への資金貸付
- 災害査定 of 立会
- 地域金融機関の検査・監督等
- 金融商品取引業者等の監督等

証券取引等監視官

- 証券取引等の監視

※各財務局により組織構造は若干の相違があります。